

の育成」を教育目標とし、「自立した生活」、「主体的な活動」を求めて教育実践を進めてきましたが、更なる充実を図り、主体性を育む教育活動の質を高めるため令和3年度も継続して取り組みます。

ICT教育の推進

ICT教育については、情報活用能力を育成するため、国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度において、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用を目的に、一人1台のコンピュータ端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備しましたので、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続

的に実現させるため、情報活用能力が言語能力や問題発見・解決能力等と同様に、「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ります。

また、国のGIGAスクール構想による一人1台端末整備とは別に、鹿部町独自で児童生徒に一人1台タブレット端末を配付し、「いつでも」「どこでも」学習でき、繋がることができ、環境を整備しましたので、GIGAスクール構想と併せ有効に活用します。

特別支援教育

特別支援教育については、引き続き、特別支援教育支援員を小・中学校にそれぞれ配置し、共生社会の形成に向けて、各学校、関

係機関と連携を密にし、児童・生徒一人一人の特性や教育的ニーズに応じた指導やきめ細かな支援の充実を図ります。

また、切れ目のない一貫した支援を行うため、「個別の教育支援計画」の活用や研修により専門性の向上を図ります。

防災教育

防災教育については、幼稚園、小・中学校それぞれで噴火や津波等を想定した避難訓練を実施しています。令和元年度から幼稚園と小学校が連携し実施している合同避難訓練、また、授業を通して児童生徒の防災に対する意識の高揚を図ることを目的とした「1日防災学校」を小・中学校で令和3年度も継続して実施

教材費の無償化

します。

幼稚園、小・中学校における教材費の無償化については、引き続き実施し、中学校における英語技能検定の助成についても、生徒の英語における学習意欲の向上が見られることから、引き続き実施し、保護者負担の軽減を図ります。

教職員の働き方改革及び資質向上等

学校における教職員の働き方改革については、業務の質を高めるとともに、日々の生活等を豊かにすることで、自らの専門性や人間性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を

行ってもらうため、「学校における働き方改革アクション・プラン」の取組みを教育委員会、校長会、教頭会が協議して学校閉庁日の設定、部活動における休養日の設定、スクール・サポート・スタッフ及びスクールカウンセラー、学習指導員を配置しています。が、さらなる教職員の勤務時間削減に向けた取組みを推進します。

また、令和3年度も教職員自身のストレスへの気付き及びその対処への支援並びに職場環境の改善を通じて、メンタルヘルス不調となることを未然に防止する一次予防を目的として、教職員に対して心理的な負担の程度を把握するための検査であるストレスチェックを実施します。

教職員の資質向上については、教育の成果は教職員